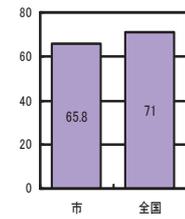


中学校 国 語 【 言語事項 】

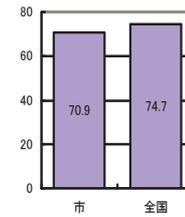
◇正答率からみた現状

	設問	出題の趣旨	市	全国	差
A	8-1	文脈に即して漢字を正しく書く。	81.8	75.2	6.6
	8ニ1	文脈に即して漢字を正しく読む。	56.5	53.7	2.8
	8三イ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	65.8	71.0	-5.2
	8三エ	〃	70.9	74.7	-3.8
	8七	辞書を活用して、語句の意味を適切に書く。	60.8	66.7	-5.9

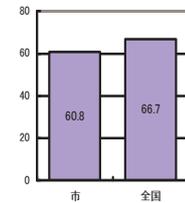
国語 A8 三イ



国語 A8 三エ



国語 A8 七



☆国語 A「知識」に関する問題

- 8-1について、「遺」は小学校6年、「産」は小学校4年の配当漢字である。音読みの熟語については、比較的良好に解答できている。
- 8ニ1について、「補う」は小学校6年の配当漢字である。訓読みの漢字の正答率は全国を上回っているが、全体的に5割程度と低い上、無解答率も21.0%と高い。
- 8三イについて、「ならわし」は慣用句の意味や用法を問う問題。「風習」という意味を持つ言葉であるが、全国に比べて5.2ポイント低い。
- 8三エは、同音異義語を選択する問題。「報道機関」の「機関」は、「目的を達する手段として設ける組織」という意。
- 8七は、「善後策」「講じる」それぞれの意味を手がかりにして説明する問題である。二つの説明を組み合わせて書く必要がある。全国的にも、正答率は低い傾向にある。

◇課題等

- 課題1 国語辞典を活用して語彙を拡充し、文脈に応じて語として理解する力の育成を図ること。
- 課題2 読書や生活体験を豊かにし、日常生活において言葉を適切に活用する態度の育成を図ること。

◎ 課題に関連する単元とその背景にある問題点

【課題1】 ≪A知識に関する課題≫

◇関連する単元

- 1年：「漢和辞典の使い方」「語の意味と文脈」「音読み・訓読み」「和語・漢語・外来語」
- 2年：「方言と共通語」「形の似た漢字」「類義語・対義語」「同訓異字」「同音異義語」
- 3年：「言葉の移り変わり」「形が固定した言い方」「四字熟語・熟字訓」「間違いやすい言葉」

◇背景にある問題点

- ▼ 日常的に漢字を実際に読んだり書いたりする機会が少ない。パソコンなどの電子機器の普及に伴い、文字を活用する場が減少してきていると思われる。

【課題2】

◇関連する単元

- 1年：「さんちき」「方言のクッション」「そこに僕はいた」
- 2年：「神奈川冲浪裏」「カタカナ抜きで話せますか」
- 3年：「卒業ホームラン」「ごはん」「万葉集を当時の音で読む」

◇背景にある問題点

- ▼ 生活体験の不足や読まれる本のジャンル、好まれる文章表現に偏りが見られると思われる。

課題1の対応策

指導のねらい

・辞書を活用する場を設定し、語彙を広げたり、適切に用いたりする。

授業例

教材例

2年「言葉探検」
・同音異義語
・同訓異字

学習の流れ

- ① 文章にあてはまる言葉を考え、同音異義語について理解する。
- ② 国語辞典や資料集を用いて、同音異義語、同訓異字を調べ、文章を作成する。
- ③ クイズを作成し、短冊にして読みあう。

課題2の対応策

指導のねらい

・いろいろなものの見方、考え方にふれ、生活の中で読書に親しむことを通して、言葉を広げる。

授業例

教材例

1年「読書の幅を広げよう」
「方言のクッション」

学習の流れ

- ① 文章を読み、感想を話し合う。
- ② 「日本語の美しいひびき」を聞き、自分たちのことばと比較する。
- ③ インターネットや図書を使って、感想や印象をまとめ、方言や日本語についてレポートにする。
 - ・ 使えそうなおもしろい方言
 - ・ いつも使っている言葉を方言(〇〇弁)に直す
 - ・ 〇〇弁の会話文
 - ・ インターネットの音声機能を用いたイントネーションの確認